

梨本祐平 なつもと けいへい 支那研究家。明治二十二年東京生れ（一九〇一）。大正十一年東京商科大學中退。昭和二年渡滿、十一年中華臨時政府設立工作、十四年汪精衛政府樹立工作等も關與した他、冀東政府顧問となる。戦後北京の軍事法廷で侵害罪を以て死刑求刑も、無罪嘆願運動等により釋放せられ、二十二年歸國。

著書に『太平天國革命』（昭和十七年五月）二十五年中央公論社）、『中國のなかの日本人』全二冊（第一部・昭和二十二年八月）二十五年、第二部・十月）二十五年平凡社）『人間の記録双書』（『周恩来』（昭和四十二年十月）『白鶴草書房』）、『太平天國革命の研究』（昭和四十七年八月）『五百同成社』等。

